

各位

 2024年6月19日  
 碧海信用金庫

**2024年3月期（令和5年度）決算発表**

碧海信用金庫（理事長：深谷 誠）は、2024年3月期（令和5年度）の決算について、以下のとおり業績の要約を公表いたします。

**記**
**1. 主要業績数値**

（単位：百万円）

		2024年3月期 （当期）	2023年3月期 （前期）	増 減
預貸金状況	預金積金残高	2,297,396	2,274,365	+23,031 (+1.01%)
	貸出金残高	1,196,170	1,180,549	+15,621 (+1.32%)
損益状況	業務純益	4,476	1,131	+3,345 (+295.66%)
	実質業務純益	4,281	1,131	+3,150 (+278.42%)
	コア業務純益	5,009	4,583	+425 (+9.28%)
	コア業務純益 （投資信託解約損益を除く）	5,935	6,090	△154 (△2.54%)
	経常利益	5,182	3,329	+1,852 (+55.64%)
	当期純利益	3,735	2,557	+1,177 (+46.03%)
健全性	純資産額	169,091	164,245	+4,846 (+2.95%)
	自己資本比率(単体)	15.35%	15.10%	+0.25ポイント
	不良債権比率	2.93%	2.63%	+0.30ポイント

※ 単位未満切捨て表示。

※ 不良債権比率は金融再生法ベース。小数点第3位を四捨五入して表示。

- ・ 業務純益とは、金庫の基本的業務に係る利益です。
- ・ 実質業務純益とは、業務純益から、一般貸倒引当金繰入額の影響を除いたものです。
- ・ コア業務純益とは、業務純益から、一時的な変動要因（一般貸倒引当金繰入額および国債等債券関係損益）を除いたものです。

## 2. 業績コメント

### 〔預貸金状況〕

- 預金積金残高は、個人・法人のお客さまからの普通預金などを中心に増加し、前期比 23,031 百万円増加の 2,297,396 百万円となりました。
- 貸出金残高は、住宅ローンなど個人向け貸出を中心に増加し、前期比 15,621 百万円増加の 1,196,170 百万円となりました。

### 〔損益状況〕

- 有価証券関係損益が大きく改善したことなどにより、業務純益は前期比 3,345 百万円増加の 4,476 百万円、経常利益は前期比 1,852 百万円増加の 5,182 百万円、当期純利益は前期比 1,177 百万円増加の 3,735 百万円となりました。

### 〔健全性〕

- 自己資本比率（単体）は、前期比 0.25 ポイント上昇の 15.35%となりました。信用金庫に求められる国内基準（4%）を大きく上回っております。
- 不良債権比率（金融再生法ベース）は、前期比 0.30 ポイント上昇の 2.93%となりました。

以 上